

事業 番号	事業名	事業概要		確定額 (千円)	事業区分
		事業実施により実現できた具体的効果・成果			重点等
	事業者名	実施地等			
		実施期間			
URL					

内16	第14回広島国際アニメーションフェスティバル	<p>アニメーション芸術を通じて相互理解を深め、世界のアニメーション芸術の普及、発展及び映像文化の振興、映画産業の発展に寄与することを目的とした第14回広島国際アニメーションフェスティバルを8月23日～27日にかけて広島アステールプラザで開催した。期間中は、世界各国から応募されたアニメーションの中から優秀作品を選考するコンペティション、国内外の有名作家の作品上映、展示会、セミナー、ワークショップなどが開催された。</p> <p>・コンペティションには過去最多の2,110本の作品が寄せられた。これは世界の映画祭の中でもトップレベルの応募を誇り世界で活躍する作家たちの期待の表れと考えている。          ・コンペティション66本、特別プログラム656本、計722本もの世界最先端の作品の鑑賞機会を提供することにより、アニメーション技術の現状を知らせるとともに、国内外の作家の創作意欲を促進することができた。          ・コンペティションで受賞することは米国アカデミー賞/ノミネート、世界デビューへとつながり映像に関わる人材育成に貢献している。今大会は日本の若手作家の6作品が上映され、日本の若手作家の育成と作品の紹介に貢献した。          ・本映画祭への参加をきっかけに多くのクリエイターがヒロシマの実態にふれ平和発信を行っている。          ・入場者総数は過去最多の34,175人が国内外から訪れた。          ・今回初めて開催した市民前夜祭では、大会ゲストや市民約1,000人が参加して市内中心部に新たな賑わいを生み出した。          ・市民のフェスティバル応援団体「ラッピー友の会」をはじめ多くの市民団体がゲスト等のもてなしなどを担ったほか、ボランティアの幅広い協力を得て映画祭を運営しアニメーションを通じたまちづくりに貢献した。          ・「子どものためのアニメーション」の上映により、子どもたちが国内外の優れた作品に触れる機会を提供するとともに、子ども対象のアニメーションワークショップ「キッズクリップ」を開催してきたことで「パラパラアニメコンテスト」の応募本数が1000本に迫るなど確実に裾野が広がっており将来の鑑賞者・作り手の育成に貢献した。          ・学生の作品紹介や大学の取り組みを紹介する見本市「エディケーショナルフィルムマーケット」に、国内の大学及び専門学校11校がブース出展したほか海外の教育機関を含む多数の学生の作品が参加するなどアニメーション教育のレベルアップに寄与した。</p>	1,500	公演・展示
	広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会	<p>【実施地等】広島</p> <p>【実施期間】2012/8/23～2012/8/27</p>		
	http://hiroanim.org/			